

遊漁船海難事故防止安全指導を行いました

本年に入り和歌山県沿岸海域において、死亡者（船長2名、乗客1名）を伴う遊漁船海難が相次いで発生しており、和歌山海上保安部、田辺海上保安部及び和歌山県では、遊漁船事故の再発防止の徹底を図るべく、継続した安全指導を実施しておりますが、本年8月17日発生の静岡県天竜川での川下り船転覆事故を受け、多数の乗客を扱う交通機関を運航する遊漁船業者に対し、和歌山海上保安部及び和歌山県合同で、ライフジャケットの着用を中心とした海難事故防止安全指導を平成23年8月25日～26日に行いました。

安全指導では、海中転落から命を守るためのライフジャケット着用のほか、気象・海象情報の的確な入手、出航中止基準・帰港基準の遵守等安全運航の基本的事項の遵守及び事故防止対策の指導等を行いました。



遊漁船所属漁業協同組合への安全指導



ライフジャケット着用状況の確認



遊漁船上での安全指導状況



安全指導後の遊漁船出港状況



必ず着けて「ライフジャケット」！

遊漁船の船長さんへ 救命クッション(座布団型)については、落水時、慌てしまい着用できないことがあります。ライフジャケットについては胴体から離れない(胴体に密着)しているため、万が一落水した場合でも浮くことができることから着用を励行願います。

瀬渡船(船長86歳)が磯場に接近中、大波を受け転覆。船長死亡(和深沖)



乗合船(船長59歳)はアンカー投入作業中、船長がアンカーロープを足に絡め海中転落、救助に当たった乗客1名とともに死亡(日ノ御埼沖)



出典元：インターネットYAHOO JAPANニュース 読売新聞撮影画像

川下り船が転覆 船頭と乗客の計5名が死亡(天竜川)

海上死亡事故発生後もライフジャケット未着用で遊漁されるお客さんが多数います。
ライフジャケット常時着用の徹底をお願いします。



遊漁船の重大ミスによる事故が続発！

～悲惨な事故とならないためにライフジャケットの着用を～



乗合船(船長79歳)が荒天下の無謀帰港により港手前の浅瀬に乗揚げ。釣客1名負傷。燃料全量流出。船体撤去による損害額1300万円超。(串本沖)



乗合船が帰港中、船長(71歳)の居眠り運航により暗礁に乗揚げ。釣客1名負傷。燃料全量流出。船長及び釣客2名は、海保ヘリコプターにより救助。(印南沖)



衝突により破損した船体

乗合船が漂泊遊漁中、船長(78歳)が、釣に夢中となり、接近する漁船に気付くのが遅れ衝突。釣客が負傷。船体破損。(友ヶ島水道)

問合せ先：和歌山海上保安部

073 - 402 - 5852